



YAMATO-NAKA ROTARY CLUB

1953号

会 長	鈴木洋子	会長エレクト	辻 彰彦	事 務 所	大和市大和南2丁目1番1号
副 会 長	岸 幸博	幹 事	石川達男		大和中央ビル 301
会報委員会	新村千成	小野泰弘	藤塚勝明		TEL 046-262-1717 FAX 046-262-1818
	板垣克浩	小倉一道	梅田秀雄		E-mail : naka-office@ynrc.jp
例 会 場	きらぼし銀行 大和支店 4F (毎週木曜日)				URL : http://www.ynrc.jp

国際ロータリーテーマ

ROTARY : BE THE INSPIRATION

「インスピレーションになろう」

RI会長 バリー・ラシン

大和中ロータリークラブ会長ターゲット

「未来への足がかりを創ろう」

【本日のプログラム】 5月30日 第6回クラブ協議会「次年度へ向けて」辻 彰彦 会長エレクト
 【次回予告】 6月6日 卓話「青少年育教育の実践事例報告」川井 登喜子 様

【第1947例会】平成31年5月23日(木)

【司会SAA】石川 健次 君

【斉唱】「我等の生業」

【ソングリーダー】小野 泰弘 君

【ゲスト】大谷 一記 様

会長挨拶 鈴木 洋子 会長

5月11日の家族例会は晴天に恵まれ富士山も頂上まではっきりと見られる素晴らしい家族例会になりました。心配された雷雨も無く、吸い込まれるような透明の水の忍野八海、富士山を観ながら山中湖畔の素敵なホテルでの美味しい食事、大勢の観光客が見入った富士本栖湖芝桜の絨毯どこも素晴らしいの一言でした。親睦活動委員会の入江委員長はじめ委員の皆様又職業奉仕委員会の皆様ありがとうございました。



本日の歌は「夏は来ぬ」です。この歌は1896年に佐々木信綱作詞・小山作之助作曲により発表されました。

佐々木信綱は和歌の創作や研究に功績を残した歌人であり、又古典文学の研究をはじめ註釈や復刻にも力をいれました。

小山作之助は東京音楽学校(現在の東京芸術大学)を卒業後、後進の指導の傍ら、音楽の研究や作曲に携わり、1897年(明治30年)教授に就任、

1903年(明治36年)退職後、文部省唱歌の作曲をしていました。1904年(明治37年)にヤマハ楽器の顧問になり、生涯を音楽教育・音楽活動に捧げた方です。

今月は「青少年奉仕月間」です。ロータリーの友5月号の中に国内のRC同士での青少年の交流や、外国のRCと青少年国際交流事業をしているクラブの様子が掲載されています。姫路RCと姫路市教育委員会青少年センターとの共催で今年59回目を迎えた姫路ロータリーキャンプの事が掲載されています。このキャンプは夏休みに経済的理由等で遊びに行けない家庭の児童を対象に、姫路RCの青少年奉仕活動として、1958年にスタートし現在までの参加児童は延べ5000人を超えています。

また1950年、今治RCがロータリー精神にかなう青少年を表彰しようと、今治市内の小中高校から男女1人ずつを選出して表彰。その青少年達を集め結成した会が、今治青少年ロータリー友の会です。現在は市内の全中学・高校から推薦された生徒約70人で組織されているそうです。今治RCは提唱している今治西高校インターアクトクラブと今治明德高校矢田分校IAC、学校が異なる生徒が集まる今治青少年ロータリー友の会を並立して青少年奉仕を

会員数	出席者	出席率	前々回修正	出席免除	欠席者 13名(敬称略)
34名	19名	59.38%	74.19%	4名	阿萬、藤塚、原嶋、橋本(吉)、肥田、池澤、石川(達)、入江、板垣、川名、小柳、新村、苗加

行っています。

2つのRCの活動を通してキャンプに参加した子ども達の中から、青少年センターで働く事になった人や、友の会に入っていた青年が年月を経てロータリーアンになった事は、素晴らしいことです。

本日の卓話は光丘中学校の大谷一記校長先生による「青少年育成基金での活動報告」です。ロータリーの心が青少年育成に役立ち、やがて芽が出て花が咲く事を期待します。

本日の歌(唱歌)

「夏は来ぬ」



幹事報告 北砂明彦 直前幹事

【会長幹事会報告】

- ①地区補助金配分決定について、第6グループでは厚木RC、海老名RC、厚木中RC、座間RCの4クラブに決まりました。
- ②マイロータリー登録率5月6日現在大和中ロータリークラブは38, 24%で、第6グループ10クラブ中5番目です。
- ③青少年交換、米山奨学生の名前が発表され、大和中ロータリークラブ推薦の青少年交換派遣学生として青木悠剛君がブラジルに行きます。

委員会報告

親睦活動委員会 小野 泰弘 委員

会員誕生日	苗加 真敬 君	5月24日
結婚記念日	高橋 清 君	5月27日
創業記念日	富澤 克司 君	5月23日

卓話

「青少年育成基金の活動事例」

大和市立光丘中学校 校長 大谷 一記 様

平成25年度 渋谷中学校

- ①「渋谷賞」の創設
- ②「進学時緊急支援金」の給付



平成26年度 下福田中学校

- ①「災害時準備支援金」の創設(給付額20万円)
 - ②「進学時緊急支援金」の給付(10万円)
- 平成27年度上和田中学校

- ①「雑賀字準備支援金」の創設(15万円)
 - ②「進学時緊急支援金」の給付(10万円)
 - ③「上和田ボランティア賞」の創設
- 平成28年度 引地台中学校

- ①「部活動支援金」の創設
 - ②「進学時緊急支援金」の創設
 - ③「昇降ロミストシャワー」の設置(5万円)
- 平成29年度光丘中学校

- ①「玄関マット」の購入
- ②「体育館床用シート」の購入
- ③「持ち運び用スクリーン」の購入
- ④「知の贈り物 5種セット2017版」の購入

- ⑤「CDラジカセ」の購入
 - ⑥「ロッカー」の購入
- 平成30年大和中学校
- ①「屋外ミストシャワー発生器」の購入
 - ②「大型扇風機」の購入及び補助金

スマイルボックス 辻 彰彦 委員長

本日 ¥7,000 累計 ¥554, 015

鈴木 洋子 会長・北砂 明彦 直前幹事

本日は大和市立光丘中学校校長大谷一記様、ようこそお出で下さいました。青少年育成基金を通じて、未来の子ども達にどのように役立てたのか、楽しみにしております。先週の家族移動例会において、親睦活動委員会の皆様、どうもありがとうございました。天気にも恵まれ、楽しむことが出来ました。ありがとうございました。

高橋 政勝 君

光丘中学校校長先生、今日は卓話ありがとうございます。よろしくお願いします。

高橋 清 君

結婚記念日のお祝いいただきありがとうございます。

橋本 日吉 君

大谷校長先生、本日はお忙しい中卓話を承り、ありがとうございます。よろしくお願いします。

辻 彰彦 君

大和市立光丘中学校大谷校長、本日は卓話よろしくお祈いします。大谷校長は高校の同級生。成績優秀で40年過ぎ こうなります。